

(お知らせ)

令和6年1月18日  
防 衛 省

### スタンド・オフ防衛能力に関する事業の進捗状況について

防衛省・自衛隊は、我が国への侵攻部隊を早期・遠方で阻止・排除するため、スタンド・オフ防衛能力を強化することとしています。

この能力を早期に構築するために、防衛省・自衛隊としては、まず、国産スタンド・オフ・ミサイルの早期取得に向けて取組を進めているところです。

また、その補完であるトマホーク（レイセオン社製）についても昨年10月に公表したとおり、取得時期を1年前倒しすることとしています。

今般、2024年1月18日（木）に防衛省にて、木原防衛大臣と駐日米国特命全権大使ラーム・エマニュエル閣下の立会の下、米国政府との間で有償援助（FMS）に基づき、トマホークミサイル及び関連器材の取得に関する引合受諾書（LOA：Letter of Offer and Acceptance）に署名しましたのでお知らせします。トマホークの取得は2025年度から2027年度までの予定です。

引き続き、防衛力整備計画に基づき、各種スタンド・オフ・ミサイルの取得を推進し、スタンド・オフ防衛能力の早期構築を図ってまいります。

